

協定留学近況報告書



記 入 日	2015年 11月 15日
留 学 先 大 学	マンチェスター大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):国際政治学部, (現地言語での名称):Politics and International Relations <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2015年9月-2016年6月
明 治 大 学 での 所 属	法学部法律学科国際関係法コース専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

大学の情報は主に大学のホームページを参考にしたほか、わからないことや不安がある時は、昨年度にマンチェスター大学に留学していた先輩や留学カウンセラーの方などに質問をしたり、相談に乗っていただくこともありました。ビザの手続きは予想以上に複雑で、時間を要しました。前もって準備、作成しておかなければならない書類や証明書等もあるほか、一部英語で行う手続きもあるため、できるだけ早くから準備を進めておくほうが後々困ることもなく、安全だと思います。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Tier4 student visa	申請先: Visa application center (VFS Services Japan LLC)
ビザ取得所要日数: 約3週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: £322(申請料)+ £200(健康保険付加料)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

- ・CAS statement(留学先大学が発行する入学許可証兼学力の保証書のようなものです。
留学先から正式な入学許可を受領した後、6月以降に発行され、メールで送られてきました。)
- ・ビザ申請書(事前にオンラインでビザ申請手続きが必要)
- ・ビザ申請予約書(オンライン申請の際にビザセンターでの申請の予約をする)
- ・パスポート(残存期間6か月以上、かつ空白ページが2ページ以上あるもの)
- ・証明写真(パスポートサイズ、2枚)
- ・NHS 登録(事前にオンラインにて健康保険付加料の支払いが必要)

具体的な申し込み手順を教えてください。					
留学先大学から正式な入学許可、CAS をもらう →ウェブサイトからビザ申請(申請料と健康保険付加料の支払い、ビザセンターでの申請予約も) →ビザセンターで書類提出、審査結果を待つ→ビザ審査完了の連絡を受け取る →ビザセンターにて審査結果の発表、ビザ取得					
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？					
大使館での面接はありませんでしたが、ビザセンターにて本人確認、留学先の確認、留学の目的等の簡単な質問がありました。					
ビザ取得に関して困った点・注意点					
今年は健康保険付加料やビザ申請専用 IELTS の制度が導入される等、ビザの取得方法に大きく変更があったため、変更事項や最新の情報には常に気を配らなければなりません。また、私が申請した際にはありませんでしたが、ビザ申請の際に語学能力証明書や資金証明書類等の提出が求められることもあるようなので、余裕があれば準備しておいたほうが無難です。なおCASについては個人差もあるようですが、なかなか留学先の大学から送られてこないこともあるようです。私の場合は、7月の中頃まで送られてきませんでした。もし長い間待っていても送られてこないようであれば、留学先大学にメールで催促をする方が余裕をもってビザを申請でき、安全です。さらに、CASは留学先大学に発行していただくものではあるものの、記載された情報が誤っていることも多々あるようです。私の場合は、最初にCASを受け取った際には所属大学が明治学院大学に間違えられていました。もし誤った情報のまま申請を行った場合、虚偽の情報で申請を行ったとしてビザがおりないので、提出書類の確認には細心の注意を払ってください。					
Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)					
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)					
イギリスは買い物の際には現金よりもカードでの支払いが主流なので、出発前にクレジットカードやデビットカード等を用意しておくとう便利です。携帯は現地で購入でき値段や質も様々ですが、当然現地では英語で契約を行うことになるので、心配であれば日本にいるうちに携帯会社の海外プランや海外でも利用できる携帯等を契約しておくのも良いと思います。					
Ⅲ. 現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	ターキッシュエアラインズ				
航空券手配方法	JTB を通して9月分と来年の6月分の往復チケットを購入しました。出発日、帰国日を設定しなければなりません、値段は片道チケットよりもお得です。 <small>※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。</small>				
大学最寄空港名	マンチェスター空港	現地到着時刻	23:00		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	成田空港からマンチェスター空港まで約21時間 (途中トルコのアタテュルク空港にて乗り換え待ち約3時間) 空港からマンチェスター大学まで約1時間				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
空港からタクシーも電車も利用できますが、日本ほど深夜までは営業はしていないので、夜到着の便の場合は空港の近くのホテル等で一泊することをお勧めします。また、大学のウェルカムウィーク期間中であれば、空港から大学のキャンパスや寮までの無料送迎バスが利用できます。					
大学到着日	9月15日12時頃				
2.住居について					
到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。			

住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(個別の一人部屋+共用のキッチンとリビングダイニング、4人でシェア)
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(イギリス出身の学生)
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学の寮のホームページからオンライン契約→頭金(£400)を出発前に支払う →現地に到着後10月中旬までに残りを一括払い、または三回払い (10月、1月、4月 イギリスの銀行口座開設が必要)

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

寮は朝夕食付き、自炊・キッチン付き、トイレ・シャワー共用または個別など様々なタイプのもがあるほか、場所も中心街の近くのものから、街から少し離れた自然豊かなエリアまで、あらゆる候補から選ぶことができます。また渡航後には、大学が寮の近くまで送迎バスを用意してくださった上、学生のボランティアの方が私の寮まで案内してくださったので、迷うことなく無事到着できました。寮の管理の方々もとても親切で、全くトラブル等はありませんでした。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月18日～20日の3回のうちいずれか1つ
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	多くの学生が参加しており、ホールが3つ埋まるほどでした。マンチェスターでの学習や生活についての情報やアドバイスが聞けたほか、ちょっとしたサプライズや近くの席の学生と交流する時間もあり、とても参加してよかったと思えるものでした。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月28日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

Tier4 ビザの場合、入国後10日以内に、指定の郵便局等にて BRP(Biometric Residence Permit)という正式な在留許可証を受け取る義務があります。料金は無料です。受領場所はビザ申請の際に決めることができます。ビザ付のパスポートとBRP申請書類を窓口提出すれば、あとは生年月日、連絡先、滞在先(寮の住所、連絡先等)等の確認のみで、簡単に受け取ることができます。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

・Census: Tier4 Studentビザを持つ渡航者が規定通りイギリス内で学生として活動しているかをチェックするもので、Tier4ビザを持つ学生は必ず行わなければならない手続きです。9月、1月、5月に行われ、初回(9月)は自分の大学の英文成績証明書の提出が必要となるので、忘れずに持って行くようにしてください。もしこの手続きを怠った場合、最悪のケースでは強制送還もありうるようなので、忘れずに行いましょう。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

私は今のところ開設していませんが、寮費の分割払いの場合は開設が必須になりますし、現金を安全に保管できるので安心です。現地の友人から聞いた話では、現金、パスポートまたはBRP、口座開設申請書類があれば簡単に開設でき、銀行によっては学生向けのサービスの付いた口座を提供しているものもあるようです。ただし、9月や1月といった学期の初めには口座開設をする学生で大いに混雑するようなので、前もって行くか時期をずらして行くなど工夫するとよいと思います。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

私は日本にいる時に海外でも使える携帯を前もって契約し、現在使っています。友人の話では、イギリスの携帯は価格はピンからキリまであり、多くの会社から選ぶことができるようですが、過度に安いものを購入すると、回線不良や故障といった問題が頻繁に起こることもあるようなので、あまり妥協はしないほうが良いとのことでした。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(6月中旬日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

マンチェスター大学は現地生、留学生にかかわらず、原則均等に履修登録の機会が与えられているようですが、授業によっては必要とされる語学能力の制限(IELTS6.5 以上必要等)があるほか、ごく一部交換留学生には履修できない授業もあるようです。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

私は留学前に、前期では4つの授業を申請していたのですが、定員や抽選の結果により、そのうち2つしか履修できませんでした。しかし、前期に履修できなかった授業のうち、後期も開講されるものであれば、後期でも再び申請することができます。また、交換留学生の場合は学部の枠にとらわれず、様々な分野の授業を履修することができるので、柔軟に自分の学びたい分野の授業を選択することができます。私の場合も、登録上は政治学部所属ですが、前期は希望の授業が取れなかったため、最近ではビジネスや人類学に関する授業を履修しています。後期は留学前の希望通り、国際政治や国際経済の授業を履修する予定です。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床					
9:00			起床	起床	起床		
10:00	ビジネスイングリッシュの授業	アカデミックイングリッシュの授業		家事		起床	起床
11:00	"	"	政治分析の授業	"	ビジネス人類学の授業	家事	外出、イベント参加、サークル活動、課題、予習、復習等
12:00	"	"	"		"		"
13:00				音楽学部のコンサート		家事	"
14:00					政治分析のチュートリアル	"	"
15:00	今日の授業の復習	今日の授業の復習	今日の授業の復習	家事	ビジネス人類学のチュートリアル	"	"
16:00	"	"	"	"			"
17:00	"	"	"		今日の授業の復習	課題、予習、復習等	"
18:00						"	
19:00	明日の授業の予習、課題等	明日の授業の予習、課題等	課題、外出等	明日の授業の予習、課題等	今日の授業の復習、外出等		明日の授業の予習
20:00	"	"	"	"	"	課題、予習、復習等	"
21:00	"	"	"	"	"	"	"
22:00			"	"	"	"	
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

私は現在、マンチェスター大学にて政治学、人類学、ビジネス学の授業を履修しています。今までこれらの分野を専門的に学習したことはなかったため、最初は授業についていくので精一杯でしたが、予習・復習を怠らず、また、教授や講師の方々が質問や相談に親切に付き合ってくださったこともあり、最近は徐々に理解を深めることができるようになってきました。寮はブルガリア出身の学生1人とイギリス出身の学生2人とでキッチン、リビング、ダイニングをシェアする形で生活しています。フラットメイトとの仲もよく、一緒に料理を作ったり、コンサートに出かけるなど楽しい寮生活を送っています。課外活動としては、Japanese Society という、日本出身の学生、日本語を勉強している学生と日本に興味のある学生が集まるサークルに所属しており、互いに交流しつつ、英語、日本語、文化などを教えあうなどの活動をしています。マンチェスターに来てから早くも二ヶ月が過ぎましたが、残りの期間も学習、課外活動等積極的に取り組み、充実した留学生活を送りたいと考えています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

私が留学生活を初めてまず最初に思ったことは、もっと英会話の練習をしておけばよかった、ということでした。もちろんリーディングやライティングといったスキルも重要ですが、まず何よりも英語でコミュニケーションができなければ、誰かと交流するにしても、何かの手続きをするにしても大変苦労することになります。実際、私も今ではようやく楽しく会話したり、伝えたいことが正しく伝えられるできるようになってきましたが、到着したばかりの頃は、フラットメイトと話すのも大学で手続きをするのも、伝えたいことがうまく伝えられず、大いに苦戦することになりました。これも留学の醍醐味なのかもしれませんが、やはり、最初から英会話ができるのとできないのでは、留学後の英語の上達や、留学中に経験できることも変わってくると思います。英会話は留学前に十分に練習しておくことをお勧めします。

マンチェスターは近代的なもの、歴史的なもの、自然とがほどよく共存したとても住みやすい街です。また、様々な地域からの移民も多く、生活の中であらゆる文化に触れることができます。マンチェスター大学の学生はとてもメリハリがあり、学習するときは全力で学習し、遊ぶ時は思いきり遊ぶ学生が多いように感じます。大学での勉強もイギリスでの生活もどちらも楽しめるマンチェスター大学は、留学先としてはとてもお勧めです。